

修了評価の方法

| | |
|------------|--|
| 評価方法及び合格基準 | <ol style="list-style-type: none">1 出題範囲<ul style="list-style-type: none">• 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。• 使用テキスト（長寿社会開発センター発行：介護職員初任者研修テキスト）1巻40ページから3巻400ページまでの間で出題する。2 出題形式<ul style="list-style-type: none">• 五肢択一形式とする。3 出題数<ul style="list-style-type: none">• 41の設問を設け、各設問に5つの問題を設ける。• 択一問題で、各問題（205問）について配点は0.5点とし、1つの設問で2.5点の配点となる。ただし、41の設問のうち5つの設問については5つの問題を全部正解した場合に、当該設問について2点の配点とする。 (合計100点)• 設問内5問全部正解で2点とする設問は、科目番号(9)のうち、項目番号⑥～⑩までの範囲についての設問とする。4 合否判定基準<ul style="list-style-type: none">• 60点以上とする。5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none">• 結果発表後、直ちに1時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は80点以上とする。 補習料：1時間あたり5,000円 再評価料5,000円• 再試験を最大2回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には修了評価者が直ちに個別指導を行い、再試験を行う。 再試験料：1回あたり5,000円 |
|------------|--|